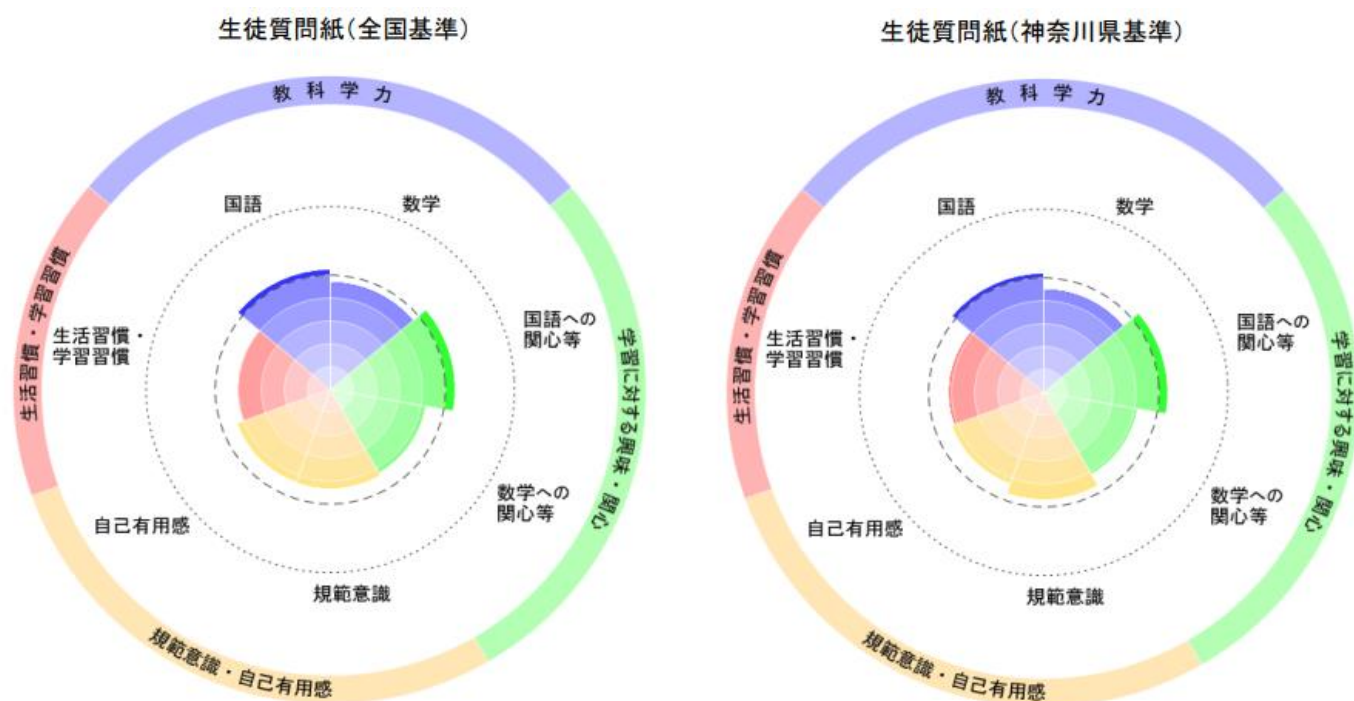


令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

調査結果の概要

令和3年5月27日に全国の中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。令和3年8月27日に公表された横浜市教育委員会による本市中学校の調査結果の概要の一部を本校の状況とともにお知らせします。



これらのグラフから、本校の生徒は国語の正答率と、国語への関心が全国、神奈川県の平均と比べてやや高く、そのほかの項目では平均を下回ったことがわかります。

本校における結果報告と分析・課題

この調査においては測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえてとらえる必要があります。保護者・地域の皆様におかれましては、十分にご理解の上受け止めていただけますようお願いいたします。

(1) 学力について

全国の正答率と比較して結果に特徴のある観点または領域(教科別)、および本校のと改善策

国語

全国平均を上回った問題(領域)

- ・ 文脈の中における語句の意味を理解する
- ・ 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く

課題が見られた問題(領域)

- ・ 話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える
- ・ 相手や場に応じて敬語を適切に使う

→相手の話の意図を的確にとらえるように指導する。

普段、相手に応じた正しい言葉遣いを心がけるよう指導する。

数学

全国平均を上回った問題(領域)

- ・ 四角で囲んだ4つの数が12, 13, 17, 18のとき, それらの和が4の倍数になるかどうかを確かめる式を書く
- ・ 与えられた表やグラフを用いて, 2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する

課題が見られた問題(領域)

- ・ 整式の加法と減法の計算ができる
- ・ 与えられたデータから中央値を求めることができる

→どちらも正答率が高い問題だが、間違っている生徒が全国に比べて非常に多い。基本的な計算のルールや言葉の意味が定着していないことがうかがえる。一方、全国では正答率が低い問題でやや正答率が上回る問題もあり、全体的には大差はないと考えられる。

(2) 教科への関心について

国語

「国語の勉強が好きですか」「国語の勉強は大切だと思いますか」という問いに対して当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えている生徒が多い。それに対して、「国語の授業では目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている」という問いに当てはまらない、どちらかというとき当てはまらないという生徒は6割を超えている。

数学

「数学の勉強が好きですか」という問いに対して、当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えた生徒は半数を切ったが、「数学の勉強は大切だと思いますか」という問いに対して、当てはまる、どちらかというとき当てはまると答えた生徒は9割に近い。それに対して数学の授業の内容はよくわかりますかという問いに当てはまらない、どちらかといえば当てはまらなると答えた生徒がやや多く3割を超えている。

(3) 規範意識について

全国平均をやや下回ったグラフになっているが、「人が困っているときは、進んで助けますか」という問いに当てはまると答えた生徒がやや少ないが、どちらかといえば当てはまるを合わせると全国平均とあまり変わらず、8割を超えている。

(4) 自己有用感について

自分には、よいところがあると思いますかという問いに対して当てはまらない、どちらかといえば当てはまらないという生徒が3割を超えていて、全国の2割超に比較して割合が大きい。

(5) 生活習慣・学習習慣について

朝食を毎日食べていますか、毎日同じくらいの時間に起きていますか、という問いに対しては、当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えた生徒がどちらも9割くらいいる。それに対して、スマートフォンや、PCの使用時間が4時間以上という生徒が全国より1割近く多い。それに対し、家で自分で計画を立てて勉強をしていますかという問いに対して、まったくしていないと答えた生徒が1割を超えていて全国の割合よりやや多い。

(6) その他

「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか」は本校でも、全国と同様6割超の生徒が当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えている。

「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか」に対し、当てはまる、どちらかといえば当てはまるは全国に比べて1割弱少ない。

「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか」に対し、当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えた生徒が全国に比べ1割以上少ない。

これらのことから、半分以上の生徒が休校期間中の学習に不安を抱えていた。どちらかというとい計画的に学習を進められていないと思っており、規則正しい生活ができていると答えた生徒がやや少ない。

→ 休校とは昨年度の休校を指しています。3年生になって、全体的には学習に計画的に取り組むようになってきました。学習相談をする生徒も増えています。われわれ職員も学習相談の充実を図り、不安の解消に努めます。

以上の内容を踏まえ、ご家庭の協力を得て指導の継続を行っていきたいと考えています。